

## 山形県金融経済概況

### 1. 全体感

山形県の景気は、緩やかに持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は、横ばい圏内の動きとなっている。個人消費は、回復している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は、持ち直している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回っている。

### 2. 需要項目別の動向

#### (1) 公共投資・・・横ばい圏内の動きとなっている

1月の公共工事請負金額は、前年を下回った。市町村などの発注が増加したものの、国や県の発注が減少した。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2023年 3月	6月	9月	2023年 11月	12月	2024年 1月
山形県	▲21.8	9.2	▲3.1	29.2	▲24.8	▲7.1

<資料>東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの(以下同じ)。

#### (2) 設備投資・・・横ばい圏内の動きとなっている

12月短観における2023年度の設備投資計画をみると、製造業が9月短観から大幅な上方修正となったことから、全産業が前年比プラスに転じた。

この間、12月の建築着工床面積(民間非居住用)は、農林水産業などは減少したものの、製造業、運輸、卸売・小売などが増加したため、前年を上回った。

(図表2) 県内企業の設備投資額(2023年12月山形短観) 前年度比、%

山形県	2021年度(実績)	2022年度(実績)	2023年度(計画)
全産業	62.4	▲16.9	3.6<12.5>
製造業	7.2	100.8	▲3.3<23.3>
非製造業	101.7	▲61.2	16.9<▲1.5>

<資料>日本銀行山形事務所

< >内は前回調査比修正率、%

(図表3) 建築着工床面積(民間非居住用) 前年比、%

	2023年 3月	6月	9月	2023年 10月	11月	12月
山形県	▲50.0	▲77.1	▲30.2	29.1	▲30.5	105.5

<資料>国土交通省

### (3) 個人消費・・・回復している

12月の百貨店・スーパー販売（全店ベース）は、16か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、33か月連続で前年を上回った。コンビニエンスストアは、前年並みとなった。ホームセンターは、4か月連続で前年を下回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2023年 4～6月	7～9月	10～12月	2023年 10月	11月	12月
全店	4.4	6.7	4.5	6.0	4.4	3.3
既存店	0.8	2.8	1.1	2.0	0.7	0.8

〈資料〉経済産業省

1月の乗用車新車新規登録・届出台数は、2022年8月以来、1年5か月振りに前年を下回った。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数 前年比、%

山形県	2023年 3月	6月	9月	2023年 11月	12月	2024年 1月
乗用車 合計	22.1	21.4	8.6	8.6	9.2	▲20.0
普通車	40.7	51.9	13.9	36.2	18.3	▲6.2
小型車	4.0	9.4	7.6	▲5.1	1.1	▲21.7
軽四輪	22.0	7.5	5.2	▲0.5	6.5	▲29.0

〈資料〉東北運輸局

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に回復している。

### (4) 住宅投資・・・弱い動きとなっている

12月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲いずれも減少したため、前年を下回った。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2023年 3月	6月	9月	2023年 10月	11月	12月
山形県	68.0	15.1	1.4	12.5	▲21.1	▲30.5
持家	29.1	▲4.7	▲17.3	5.9	▲15.1	▲20.2
貸家	223.8	▲36.1	41.2	57.1	▲12.3	▲9.8
分譲	133.3	193.8	6.1	▲38.8	0.0	▲64.1

〈資料〉国土交通省

### 3. 生産・・・持ち直しの動きが足踏みしている

11月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を下回った。業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械、窯業・土石製品など10業種で上昇したものの、化学、情報通信機械など12業種で低下した。在庫指数（季節調整済）も、前月を下回った。

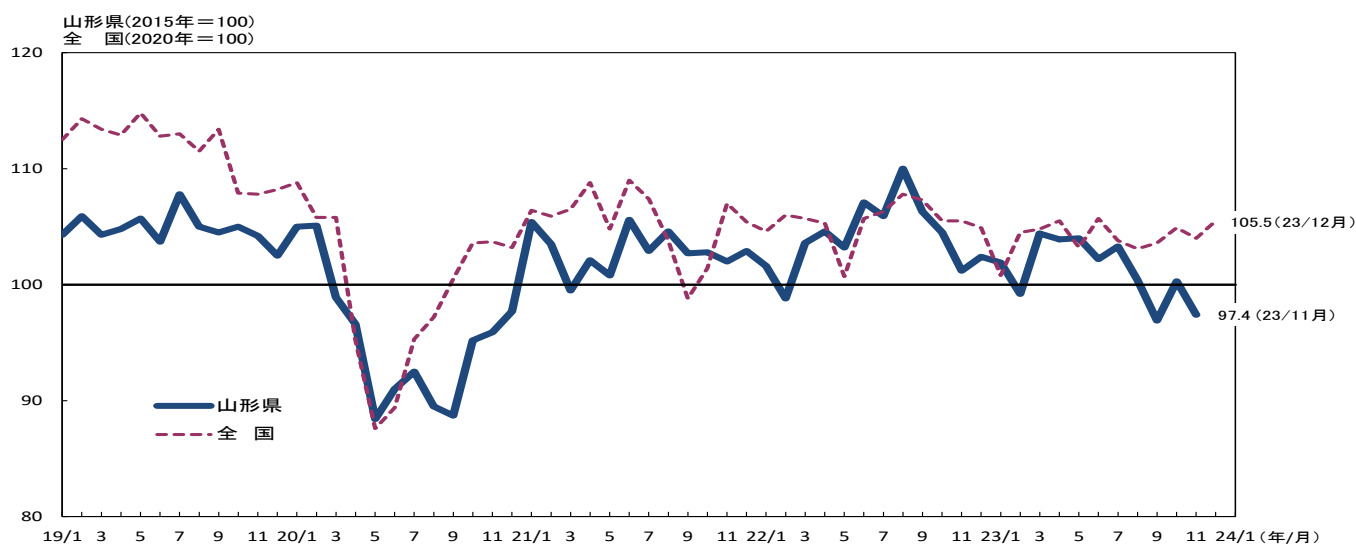
（図表7）鉱工業指数

2015年基準

山形県		2022年 12月	2023年 3月	6月	2023年 9月	10月	11月
生 産	季節調整済前月比%	1.2	5.2	▲1.7	▲3.5	3.5	p ▲2.9
	原指数前年比%	▲2.3	0.8	▲4.5	▲9.0	▲2.3	p ▲3.8
在 庫	季節調整済前月比%	0.1	4.6	3.4	▲1.6	2.9	p ▲0.7
	原指数前年比%	14.6	16.3	13.8	6.4	5.4	p 10.5

〈資料〉山形県

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



### 4. 雇用・所得環境・・・持ち直している

12月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.38倍となった。業種別の新規求人数をみると、生活関連サービス・娯楽などは増加したものの、宿泊・飲食サービス、卸売・小売などで減少した。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%

山形県	2023年 4～6月	7～9月	10～12月	2023年 10月	11月	12月
有効求人倍率	1.40	1.40	1.38	1.38	1.33	1.38
完全失業率	1.7	1.5	n.a	—	—	—

〈資料〉総務省、山形労働局

（注）有効求人倍率の四半期データは、四半期末の水準。

11月の常用雇用指数は前年を上回った。所定外労働時間は前年を下回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2020年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2022年 12月	2023年 3月	6月	2023年 9月	10月	11月
常用雇用指数	1.7	1.4	0.3	0.5	0.7	1.2
所定外労働時間	0.5	▲0.9	▲10.2	▲12.3	▲7.9	▲8.7

<資料>山形県

11月の現金給与総額(名目賃金指数)は、前年を下回った。きまって支給する給与は、前年を上回った。

(図表 11) 所得関係指標 2020年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2022年 12月	2023年 3月	6月	2023年 9月	10月	11月
現金給与総額 (名目賃金指数)	6.4	1.3	8.2	1.3	1.1	▲2.0
きまって支給 する給与	3.3	1.5	2.4	0.2	1.4	1.6

<資料>山形県

## 5. 企業倒産・・・低水準ながら前年比増加

1月の企業倒産(負債額10百万円以上)は3件、負債総額は1.1億円となった(前年同月は1件、0.8億円)。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2023年 3月	6月	9月	2023年 11月	12月	2024年 1月
件数	3	5	12	1	5	3
負債総額	0.8	10.4	40.8	0.1	17.3	1.1

<資料>(株)東京商工リサーチ

## 6. 物価・・・前年を上回った

12月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、食料品などの価格上昇から前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数 2020年基準、前年比、%

山形市	2023年 3月	6月	9月	2023年 10月	11月	12月
総合	3.3	3.4	3.4	3.8	3.2	3.5
生鮮食品を除く総合	3.2	3.5	3.0	3.1	2.8	3.1

<資料>山形県

## 7. 金融

12月の県内預金(銀行+信用金庫)は、前年を上回った。県内貸出(銀行+信用金庫)も、前年を上回った。この間、貸出金利は低下した。

(図表 14) 預金、貸出金 %

山形県	2023年 3月	6月	9月	2023年 10月	11月	12月
実質預金+CD (末残前年比)	1.3	0.7	1.5	0.8	0.5	0.5
貸出金 (末残前年比)	2.1	2.3	3.5	3.2	3.3	3.5

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。  
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。  
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。  
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。  
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利 %ポイント

山形県	2023年 4~6月	7~9月	10~12月	2023年 10月	11月	12月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.020	0.016	▲0.003	0.003	▲0.005	▲0.001

12月末水準  
0.866%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

<p>(内容に関するお問い合わせ先)          日本銀行山形事務所          TEL: 023-622-4004</p>
--